

ミッションクリティカル向け高性能・高信頼データストレージ

Hitachi Virtual Storage Platform One Block High End



Lumada Readyは、Lumadaのソリューションの実現に寄与する、先進的かつ戦略的プロダクトです。

止められない社会インフラを支えるエンタープライズストレージ

金融・公共・電力・通信・運輸といった止められない社会インフラを支えるミッションクリティカル・システムにおいて「長期に渡る安定したデータアクセス」と「堅牢なデータ保護」を提供し、お客さまの事業拡大に貢献する高性能・高信頼なデータストレージ



長期に渡る安定したデータアクセス

- 業界トップクラスの性能で、AIや機械学習といった大容量のワークロードや、リアルタイム処理が必要なミッションクリティカル・システムに安定した性能を提供しつつ、データ利活用によるインサイト獲得や生産性の向上に貢献します。
- コンポーネントの多重障害時でもデータアクセスを維持する高信頼アーキテクチャーにより、止まらないストレージシステムを実現し、ミッションクリティカル・システムを支えます。
- スケールアウトによる柔軟なシステム構成で、お客さまの事業拡大に合わせて、ストレージの容量や性能をスモールスタート/シームレスに増強できます。
- 高圧縮アルゴリズムを日立独自のハードウェア上に実装することで、データ圧縮処理を高速化します。性能影響を抑えつつ、データ量の削減によりデータの保有コストを低減できます。
- メインフレーム接続も引き続きサポートします。お客さまがこれまで培われたミッションクリティカル・システムにおけるアプリケーションや運用ノウハウに対する投資を保護しつつ、安定した事業継続を実現いただけます。
- 国内設計/製造による高い品質と、万一の際のきめ細かい原因究明で、ミッションクリティカル・システムにも安心して適用いただけます。社会インフラを支えるお客さまの事業継続に貢献します。

高信頼 アーキテクチャー

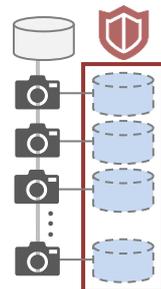


スケールアウト



堅牢なデータ保護

- 外部からアクセスできない領域に保存するスナップショット機能により、改変や削除されるリスク無く長期間データを保存できます。
- 1ボリュームあたり最大1,024世代のスナップショットの取得できます。例えば、2時間ごとにスナップショットを取得した場合、約85日分のデータ履歴を格納できます。一般的なランサムウェアのシステム内潜伏期間を大きく上回り、感染前のクリーンな状態への復旧を可能にします。
- これまで多くのシステムで採用されている災害対策向けリモートコピー機能も引き続きご提供します。システム障害や広域災害時もデータを堅牢に保護することで、お客さまの業務継続性を強化します



■ 主な仕様

項目		仕様*1	
モデル		Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85	
形名		A-65AH-CBXANNN H-65AH-CBXANNN	
ホスト インターフェース	最大 ポート数	ファイバチャネル	192
		メインフレームファイバチャネル	192
		iSCSI	96
		NVMe/TCP	96
ドライブ 搭載可能台数	NVMe SSD ドライブ	288台	
サポートドライブ	NVMe SSD ドライブ容量	3.8TB/7.6TB/15TB/30TB/60TB	
最大容量	アレイシステム内部ストレージ (物理)	17.3PB (15.3PiB)	
	アレイシステム外部ストレージ (論理)	287PB (255PiB)	
キャッシュメモリ物理容量		6,144GiB	
サポートRAIDレベル		RAID6(6D+2P, 14D+2P), RAID5(3D+1P, 7D+1P)、RAID1(2D+2D)*2	
電源入力 (AC)		単相 200V	
外形寸法 (W×D×H) mm		600 ~ 1,792×1,150×2,057 (1ラック~3ラック)	
騒音レベル LpAm (dB)*3	動作時	コントローラシャーシ	70dB
		NVMeドライブシャーシ	65dB
	待機時*4	コントローラシャーシ	60dB
		NVMeドライブシャーシ	55dB

※ 1GB=1,000³バイト、1TB = 1,000⁶バイト、1PB = 1,000⁹バイト、1GiB = 1,024³バイト、1TiB = 1,024⁶バイト、1PiB = 1,024⁹バイトとして計算した値です。

*1: 本仕様表は3CBXベアでの値を表示しています。

*2: 本装置でサポートするRAID1は、一般にはRAID1+0と呼ばれます。RAID1+0では、2台のドライブにまたがってブロックがミラーリングされ、複数のドライブペアにまたがってストライプセットが作成されます。

*3: 騒音値はISO7779に準拠して以下条件で測定し、ISO9296に基づいて宣言された値です。

通常の装置環境設定 (データセンター/一般オフィス) では本ストレージ装置以外の騒音源 (装置) や騒音を反射する壁、天井といった上記ISO規定の測定条件と異なる要素に囲まれるため、表中に記載の値は設定環境での騒音値を保証するものではありません。

- 測定環境: 環境温度23°C±2°Cの半無響室で測定
- 装置搭載位置: コントローラ筐体はラック最下段、拡張筐体はラック内高さの1.5m付近
- 測定位置: 装置前後左右から各1m、高さ1.5m (4箇所)
- 測定値: 前後左右4点のエネルギー平均値 (LpAm)

*4: PDUブレーカーがオンの状態では、装置をパワーオフしても冷却ファンが回転しています。



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「ハードウェアオペレーティングマニュアル」をよくお読みのうえ、おまもりください。

- 本資料に記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。製品の色調は、実際のものとは異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業または以下よりお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト

<https://www.hitachi.co.jp/storage/>

■ インターネットでのお問い合わせ

<https://www.hitachi.co.jp/storage-inq/>

■ 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ

☎ 0120-2580-12

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)



製品情報サイトには
QRコードからも
アクセスいただけます。